

(市会改革推進委員会要求資料)

平成24年6月  
市会事務局

## 1 会議録及び委員会記録作成に係る経費等について

### (1) 会議録(現行の速記を録音に変更する場合)

(単位:円)

	①速記反訳(23年度実績)	②録音反訳(試算)	③差額
委託料	2,346,000	712,000	▲1,634,000

④事務局人件費相当分(試算) : + 800,000

⑤経費増減額(試算) : ▲ 834,000

#### 【内訳】

①速記反訳委託料(23年度実績) : 2,346,000円

- ・実働 : @32,917.5円×47.5h
- ・待機 : @3,675円×11.5h
- ・原稿作成・校正 : @1,680円×441p

②録音反訳委託料(試算) : 712,000円

- ・原稿作成・校正 : @15,000円×47.5h (業者見積額)

③差額 : ▲1,634,000円 <②-①>

④事務局人件費相当分(試算) : +800,000円

ア 市会事務局課長補佐級, 係長級職員の平均年収額(平成23年)  
: 約8,000,000円

イ 従事割合増加分 : 0.5人×0.2

\*現在本会議録作成業務に従事している係長級職員の本会議録作成業務従事割合を0.5人, 業務増加割合を0.2と設定。

⇒ア×イ=8,000,000円×(0.5人×0.2)

⑤経費増減額(試算) : ▲834,000円 <③+④>

(2) 委員会記録（現行の録音を速記に変更する場合）

（単位：円）

	①録音反訳（23年度実績）	②速記反訳（試算）	③差額
委託料	5,965,000	27,518,000	+21,553,000

④事務局人件費相当分（試算）：▲ 9,381,000

⑤経費増減額（試算）：+12,172,000

【内訳】

①録音反訳委託料（23年度実績）：5,965,000円

・原稿作成・校正：@10,710円×557h

②速記反訳委託料（試算）：27,518,000円

・実働：@32,917.5円×557h

・待機：@3,675円×(11.5h/47.5h×557h)

\*本会議待機時間/本会議実働時間×委員会時間

・原稿作成・校正：@1,680円×441p×(557h/47.5h)

\*委員会会議時間/本会議会議時間

③差額：+21,553,000円<②-①>

④事務局人件費相当分（試算）：▲9,381,000円

ア（1）で求めた本会議の速記と録音との切替えに要する人件費：800,000円

イ 557h/47.5h（委員会会議時間/本会議会議時間）

⇒ア×イ=800,000円×（557h/47.5h）

⑤経費増減額（試算）：+12,172,000円<③+④>

(3) 会議録の録音反訳実施に際し導入を要する機器（他都市導入例を参照）

○会議録作成における録音機器が、これまでの補助的役割から主たる役割となることから、高音質かつ高機能なレコーダーや集音マイクが必要となる。

・ポータブルICレコーダー（約87,000円～）×2台

・ハンディ型リニアレコーダー（マイク付き）（約100,000円～）×2台

試算合計：374,000円～

○そのほか、停電時の対策として無停電電源装置を設置している都市もある。

\*無停電電源装置は、録音機能の補完のみが目的ではなく、議場全体のマイクシステムや市庁舎全体のために設置している事例が多い。